

平成 27 年 11 月 27 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 笠原 久恵 様

議会報告会 4 班
班長 加藤 啓子
戸辺 滋
坂巻 儀一
石原 修治
西川 誠之
根本 守
小田桐 仙

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成 27 年 11 月 15 日 (日)
午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分
- 2 場所 平和台福祉会館
- 3 欠席議員 無し
- 4 参加者数 22 人
- 5 報告内容 別添資料参照

6 意見交換内容

市民（東深井）：消防署の建て替え、また人口増を推移していくと、焼却炉の容量の増量等、建造物の建て替え改修の事を考えて、予算取りをしていかなければならないと思うがどうか。

議員：焼却炉は稼働して12年となった。国の寿命は15年、メーカーは20年はいけるだろうとの見解も、焼却炉は止まったらアウトです。先を見通したら手を入れないとならないので、焼却場も140億円かかっているので今後、基金を積み立てていかなければならないかと思います。消防署の建て替えは、平成31年度に建て替えに向けた調査をする計画がありますが、現在市街地が広がっているので、住宅が先になり、住宅が後になると反対が出るとおもうので課題があるのかと思います。また流山小学校はもう50年経っていますので、このまま行ったら60年までは何も手をつけない事になりますので、学校間格差の問題はきちんと考えなければならぬと思う。

議員：消防署、焼却炉等それ以外にも、街のメンテナンスは大切であると思う。先々を考えれば予測でいきるとおもうので、新市街地、おおたかの森地区だけでなく、地元の街を見据えてその推移の中で、道路の傷み等、時代と共に10年後、20年後を見据えて予算だてをしなければならぬと思う。

市民（東深井）：建物を管理している人たちの人件費がアバウトな計上で詳細がない。きめ細かな計上内容をおり込んでほしい。

議員：物件費の中に入っている人件費の比率までは、現在のところ把握できていない。人数の推移は26年度、27年度は増えている実績はないと聞いている。人件費の金額の中身は、私も調べ直して改めて報告したい。

市民（東深井）：無駄を省くうえで、今までの流山の予算組みの

振り分け、見直しを、できれば2年に1回委員会を立ち上げて検討する仕組みを作してほしい。

議員：事業が色々と進んでいる中で、事業の種分け、見直しは、執行部から補正予算案が提出されたその都度審議している。2年ごとに見直しをしてはとのお話ですので、全体的に見直しをということは皆で相談したいと思います。

市民（東深井）：現在28名の議員定数で、1名の定数削減を提案、人口が増えればそれに対処していけばいいと思う。議員の質の向上を図ってほしい。

議員：議員の定数削減は前回4名をあげましたが、否決されました。今後も再選挙の時にあげていきます。

市民（谷）：新流山橋が来年から着手されるとのことだが、橋ができると消防署付近の渋滞が考えられる。その為、消防署を先に移転しておかなければいけないのではないか。また渋滞に関しては、新川耕地の物流センター等ができると交通量が増え、新流山橋が手遅れになる。先を見据えた交通緩和をどう考えているのか。

議員：知っている範囲でお答えします。三郷流山橋新橋と名称は決まっている。余談ですが、その上流部には玉葉橋という橋が一つかかっています。流山市の用地買収は約70%進んでおり、来年度から下部工の着手にはいる。平成39年度に開通予定になっている。新川耕地の緑地帯は西深井の工業団地とか物流施設がやっている。その時と同じように、事業者が道路部分については今のままではなくて、随時道路を大型自動車通れるように広げていく事になっており、新川耕地は渋滞を懸念しながら、開発されていきます。もちろん道路ですから安全対策を、十分に賄って広げていく予定です。

議員：補足ですが、県の管轄ですので県議から聞いた話ですが、

三郷流山新橋は渋滞になることを見越して、立体交差になると聞いている。平面交差ではない。

市民（松ヶ丘）交通指導員をやっており、東小学校の通学路で国道6号線から前ヶ崎にくる所が非常にあぶないという事で、道路管理課に相談しているが、数百万円でなおせるとのことだがお金がないと言われた。小中併設校には136億円もかけておいて、数百万円で子供の安全が守れるのになぜなのか。今後生活道路や公共施設の建物等のメンテナンス費をしっかりと考えながら、新しいものを作ることを考えてほしい。

市民：（松ヶ丘）南柏からの計画道路は中止になった。国道6号線で向小金の陸橋のある付近で2か所信号がある。非常に渋滞し事故が多く危険である。どうにかならないか。

市民（松ヶ丘）：流山の中小企業で私の教え子が多く働いている。土建をしていたり。おたかの森は大手がやっているの、下のほうにはなかなかお金が入ってこない。若者を育てる仕事、福祉も教育も土建等も重要な仕事であり、そこを育てるように取り組んでほしい。

市民（南）：議会だよりの中で、共産党は実質単年度2億6千万円の赤字、流政会は黒字決算となっているが見方がどうなっているのか。

議員：これは行政の表現として、実質単年度収支と単年度収支とは計算の仕方が違います。今年に入ったものから今年使ったものを実質差し引きする。前年度からまわってきた繰越金と余ったものを翌年度にまわし、今年入ったお金を合計すればより収入が大きくなる訳です。共産党でやった実質単年度収支は、今年一年間でしっかり入ったお金から、今年一年間で使ったお金を差し引きしたら2億円強の赤字になった訳です。各政党、各議員の見方の基軸の座標軸の違いがある事によるものです。

市民（平和台）：以前の議会で、公明党の不可解な行動が、私は非常に印象に残っている。議員定数削減の件で、4人には賛成して2人には反対した。その本質を教えてほしい。

議員：私は、その時にはまだ議員ではありませんでしたので、私が聞き及んでいる範囲でお話ししますが、公明党は24名には賛成しておりました。24名で話が進んでいたのが急遽26名になり、あまりにも急すぎるという事で24名には賛成したが、26名になった理由が深まらないのであれば、その段階では26名には反対をしたと聞いております。今のご説明で納得いかなければ、先輩議員から話を聞いて再度ご説明します。

市民（平和台）：もっと不可解なのは、26名は通ると思っていたのに、ころっとひっくり返された。私も徹夜で付き合ったんです。もっと真剣に考えて頂きたい。私は20名でもやっていけると思っている。

議員：私もその時委員になっていたのですが、流政会が26名を出したのです。委員会で長時間話をしていた時には、26名という話は1回もでていなかった。急に26名の根拠がわからないまま、本会議場にて示され答弁されて、いきなり26名に賛成するのは公明党として、時間的に難しかったのではないかとおもいます。

市民（松ヶ丘）：議会だよりの中に、農業施策がない。農業施策をどう思っているのかを聞きたい。

議員：施策は市長がどういう施策を出していくのかという事になりますので、議会としては、市内業者の育成の観点から市内業者の育成、産業の育成ですとか、市内業者の活性化を進めています。議会だよりの中に、農業問題がないと言われますが、一般質問通告の一覧の中には、経済効果、農業問題は入っています。ご覧ください。

市民（谷）：高齢者の農家さんばかりで、平均年齢75歳以上の方が多くなっている。提案ですが、何軒か集まって株式会社にはできないでしょうか。全体集落というテレビ番組を見たことがあるのですが、どういう販売ルートを持っているかですので、コンビニエンスとかを利用して配達販売できないのか。

議員：後継者がいないことが問題で、規制を緩和して現在勤めている若い農業後継者がそういう仕事につけるようにすること。しかしながら今農業をされている方々でさえも意欲が薄れている。

市民（野々下）議会の組織の中である特別委員会の、過去どのような話し合いをいているのか、議事録を拝見したく、議会義務局へ行ったら、ないと言われた。平成27年度の1回分はあるということで、議会図書室にありますのでご覧くださいという事だった。以前のもを見たいと思っていたのだが、きちんと整理されているのか。図書室には何を置くとかのルールがあるのか。機能的にしてほしい。

議員：特別委員会の議事録は10年間保存です。つくばエクスプレス沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会の委員を10年間しているのですが、26年度までは協議会形式の開催で、議事録化されていないのです。27年度からは、特別委員会をとして開催し、開かれた議会として市民の方々が議事録と資料を見られるようにしました。

市民（東深井）：議員視察について、何を学んで何に反映させているのか、見通しがたっていないと感じる。大事なお金を使って学んでいるのですから、これを活用しない手はない。成功事例があればお聞きしたい。議員の度量というかそれも含めて、今後、初石駅東口の計画に入ってくると、東武鉄道に関して闘っていくらかでもお金を出させて、市民も巻き込んで実現してほしい。

議員：視察の件は、各議員が視察報告書を提出しているので議会事務局へ行き見せてほしいといえ、見ることができます。それと東武初石駅の件は、地域の議員も東口の改札口はこうあるべきだと取り組んでいますので、市民と一緒に議員も巻き込んで、東武に力強く訴えていかなければならないと思っています。

議員：今回都市建設委員会では、市民参加の公園づくりについて視察してきました。都市計画課の部長も同行しまして、市民参加の公園づくりはとても良いので進めましょうとの見解です。行政と連動してやっていきますのでご理解下さい。

市民（谷）：都市開発が進んで、おおたかの森の人口もかなり増えて、広報を見ていると、174000人が今度は175000人で、月当たり1000人増えている。という事は良い人ばかりではなく、悪い人も増えている。ですから防犯対策について、先日テレビ番組で見たのですが、防犯ボックスに防犯カメラが付いており、人を使わずに抑止力になっています。千葉市、船橋市、市川市ではポリボックスで犯行が6割減少したそうです。先駆けとして流山市もやるべきではないか。こういう内容を議員に出してもらえないか提案です。

議員：柏市にもコンビニに防犯ボックスができましたね、流山市でも取り入れていけたら良いと思います。

7 参加者から議会への要望

・議会報告会当日に「第11回議会報告会開催のお知らせ」が記載された流山市議会だよりが届いた。発行日が決まっているなら、報告会開催日程を調整するなりして欲しい。

・駐車スペースがもっと広い場所での報告会の開催を望む。

8 所感

開会時間は午後 2 時からの予定でしたが、準備・設営が早目に済ます事ができ、午後 1 時半頃には議員全てが定位置にスタンバイし参加市民の皆さんを迎える事ができました。

その結果、早目に来場された数名の参加者が前列に着座し、開会前より熱い意見交換会の様相を呈していました。

終了間際に時間調整の為、纏めに入らなければならない段階になっても市民の皆さんの意見は止まる事がなく、今回の参加者にとっては時間が足りなかった感がありました。

ただ、22 名の参加者ではありましたが、4～5 名の方から意見が集中し、傍聴のみの参加者の割合が多く見受けられました。

書記（記録） 石原
報告（所感） 坂巻

第11回議会報告会 平成26年度歳入・歳出 決算認定について 議会が審査したこと

H27.11.15

都市建設常任委員会

根本 守・西川誠之・小田桐 仙・加藤啓子
石原修治・坂巻儀一・戸辺 滋

2015/11/15

1

決算審査における議会の役割①

【市政チェック】

- 市長は、監査委員の審査意見を付して、来年度の当初予算議会(3月)までに、決算について議会の審査を受け、その認定を得なければならない。
- 議会では、4日間にわたり、「歳入歳出決算書」に基づき「行政報告書」「決算審査資料」などの資料を参考にしながら、当初目的に照らして、歳入と歳出が、適法かつ正当に行われたかどうかを、各部局に対し、あらゆる角度から質疑し確認する。
- 最終日に、市長に政策判断を問う「総括質疑」を行い、「決算審査特別委員会」での認定の可否を採決する。

2015/11/15

2

決算審査における議会の役割②

【政策提案】

- ・各会派からの「指摘・要望事項」及び決算審査特別委員会で『議会の総意』として、一致した「指摘・要望事項」を議長から市長あてに提出する。
- ・来年度の予算編成時に市長は、議会の総意として提出された「指摘・要望事項」の内容をどこまで反映することが出来るかが、予算認定における審査のポイントの一つとなる。

【採決】

- ・平成26年度の決算については、22対5で認定すべきものと決定しました。

※内容等は、お配りしている「議会だより」をご覧ください。₃

2015/11/15

議会総意での指摘・要望事項・分野別①

【防災】

- ・緊急避難輸送道路となる道路沿いのマンション等高層建築物に対する耐震化の促進に向けて、国や県と連携を図られたい。
- ・災害時の給水拠点の更なる拡充をされたい。
- ・実践的な避難訓練を継続し、避難所マニュアルの作成を促進する事で、万全な防災体制の構築に努められたい。

【安心・安全】

- ・防犯灯や防犯カメラの設置場所の関しては、地域要望を踏まえ、充実した防犯整備に努められたい。

【まちづくり】

- ・市の文化や歴史の理解に繋がるため、周年事業(流鉄100周年・白みりん 200周年など)を積極的に行い市内・外の住民の郷土愛の構築を図られたい。

2015/11/15

議会総意での指摘・要望事項・分野別②

【福祉】

- ・子どもの貧困大綱(平成26年8月閣議決定)に基づいた対策に取り組まれない。
- ・保育園の慢性的な人材不足を解消すべく、国の動向を注視しつつ、市独自の更なる施策も検討されたい。
- ・民生委員・児童委員の安定的な確保を図られたい。

【行財政の適正化】

- ・総合型地理情報システム(GIS)を十分に活用し、事務の効率化を測られたい。
- ・監査委員の定例監査で指摘された資金管理方法等について適正管理を徹底されたい。

(注)指摘要望事項16件中10件のみ抽出

2015/11/15

5

H26年度決算における

主な大規模整備事業(単位:百万円)

・市民総合体育館建設事業

(進捗率25%:H27年3月末支出額/継続費) 981

- ・ 私立保育所整備補助事業(7園) 786
- ・ 中学校エアコン整備事業(8校 295台) 618
- ・ 新市街地地区小学校整備事業(4月開校) 361
- ・ 新市街地地区中学校整備事業(4月開校) 340
- ・ 森のまちエコセンター放射能対策事業 291
- ・ (仮称)おおたかの森センター整備事業(完)279
- ・ 老人福祉センター建替事業 (完了) 119

2015/11/15

H26年度決算における 主な民生・衛生・教育事業等

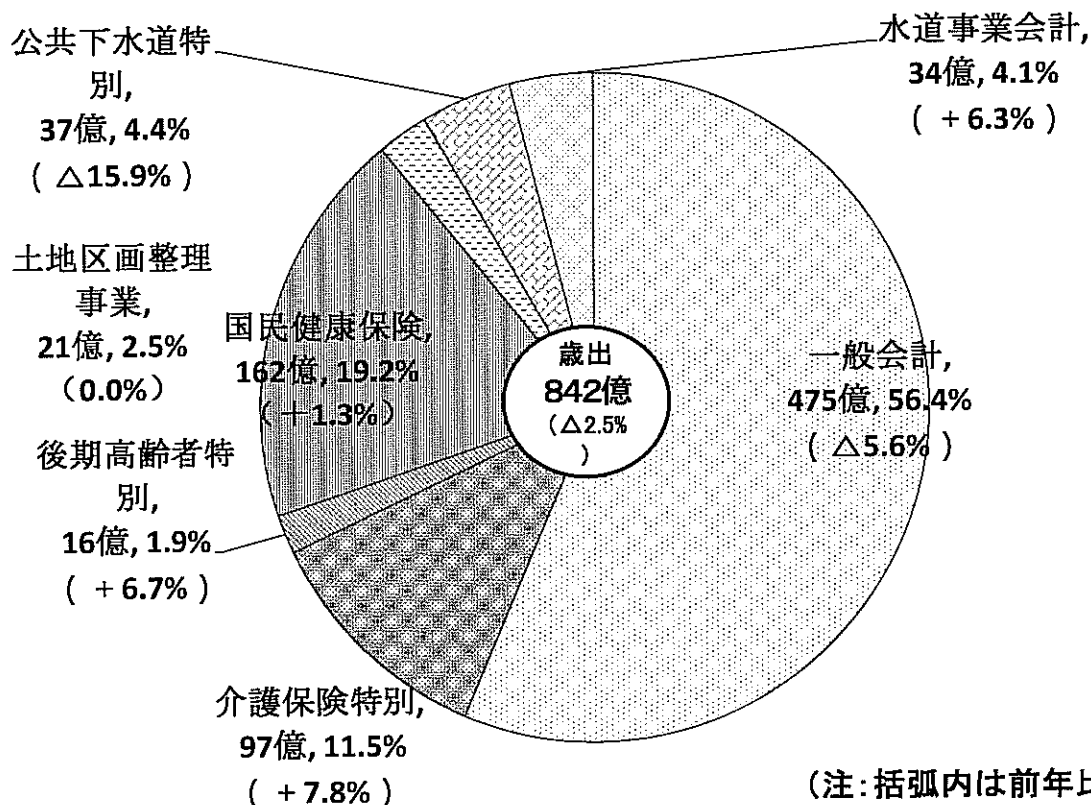
(単位:百万円)

・ 臨時福祉給付金給付事業	251
・ 障がい者自立支援事業	1,345
・ 障がい者地域生活支援事業	131
・ 送迎保育ステーション事業	107
・ 生活保護法に基づく扶助事業	2,665
・ 子ども医療費助成事業	557
・ 予防接種事業	450
・ 健康増進事業	239
・ 放射能関連2事業(合計)	135

2015/11/15

7

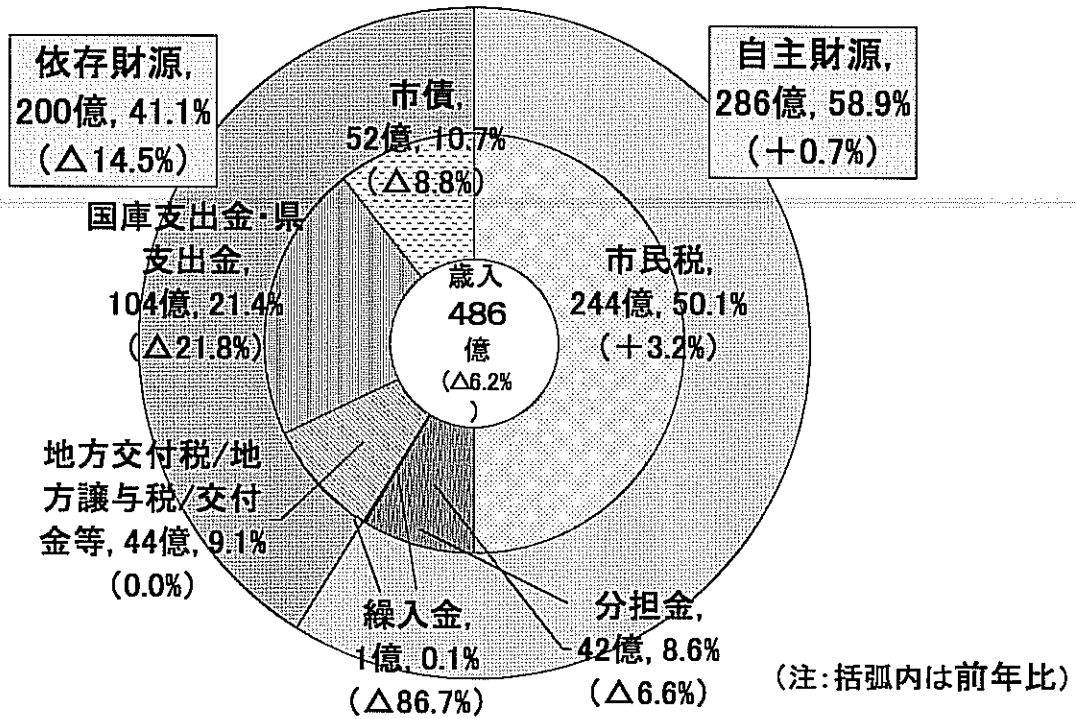
H26年度連結決算総額(歳出)



2015/11/15

8

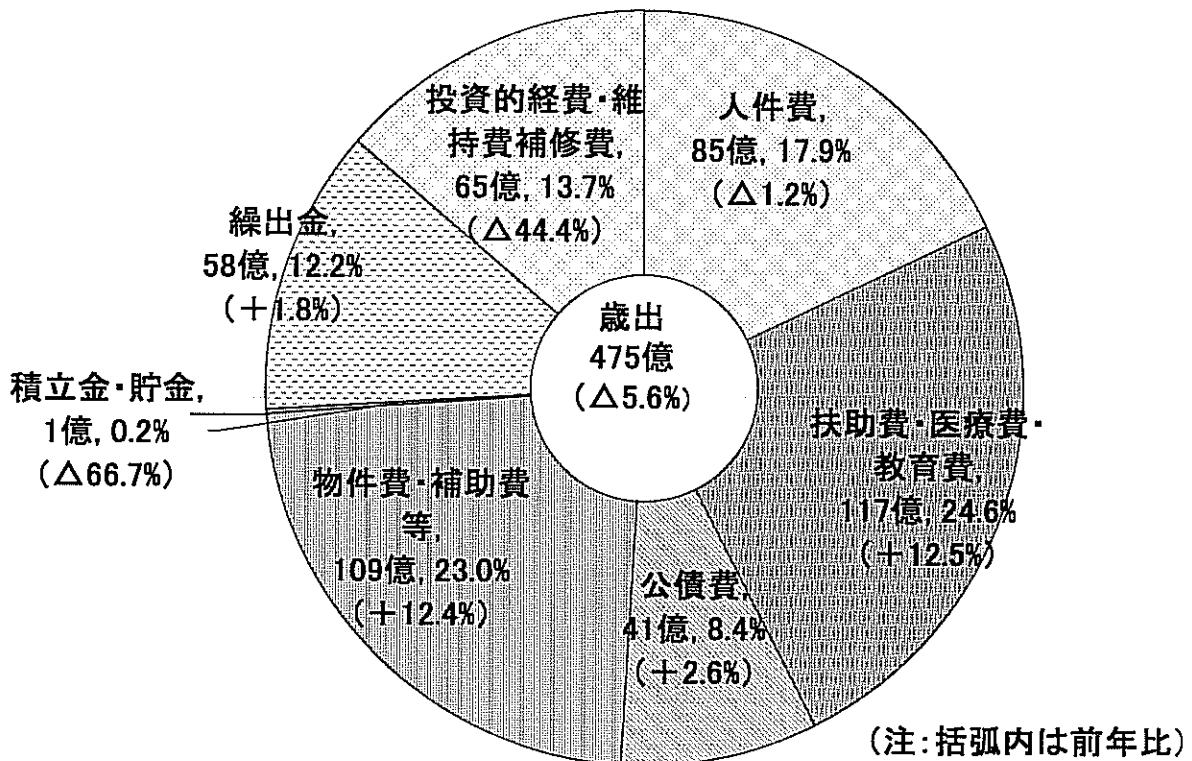
H26年度一般会計(歳入)



2015/11/15

9

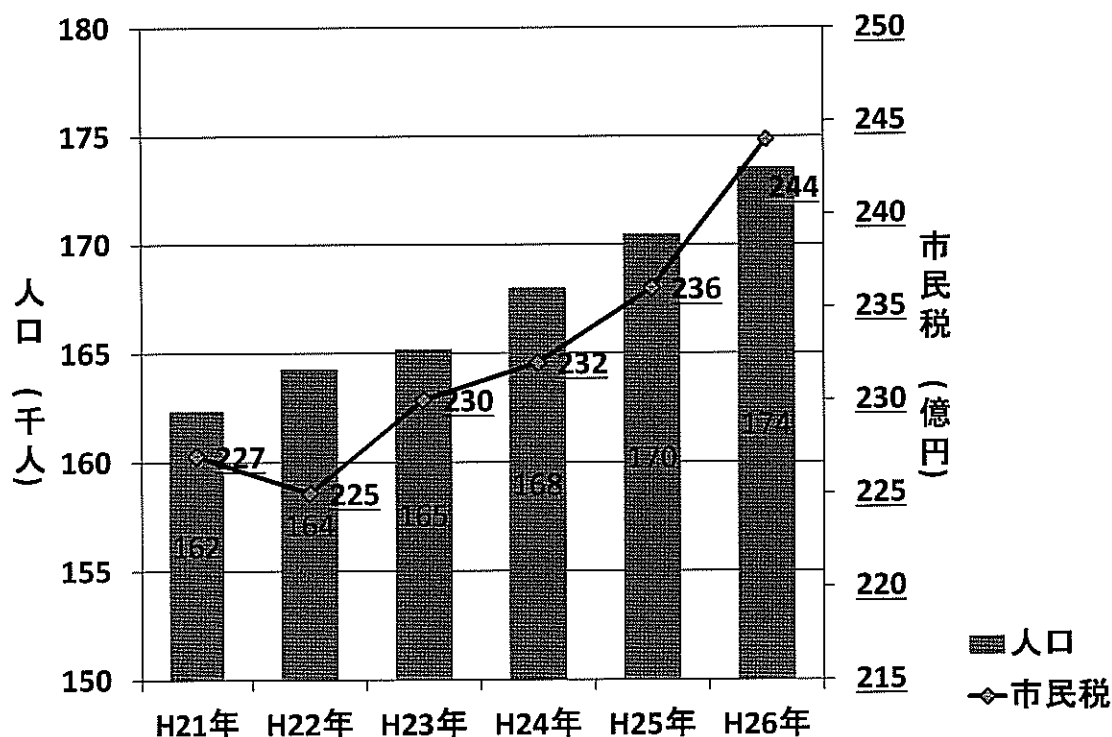
H26年度一般会計(歳出)



2015/11/15

10

市税収入と人口推移



2015/11/15

11

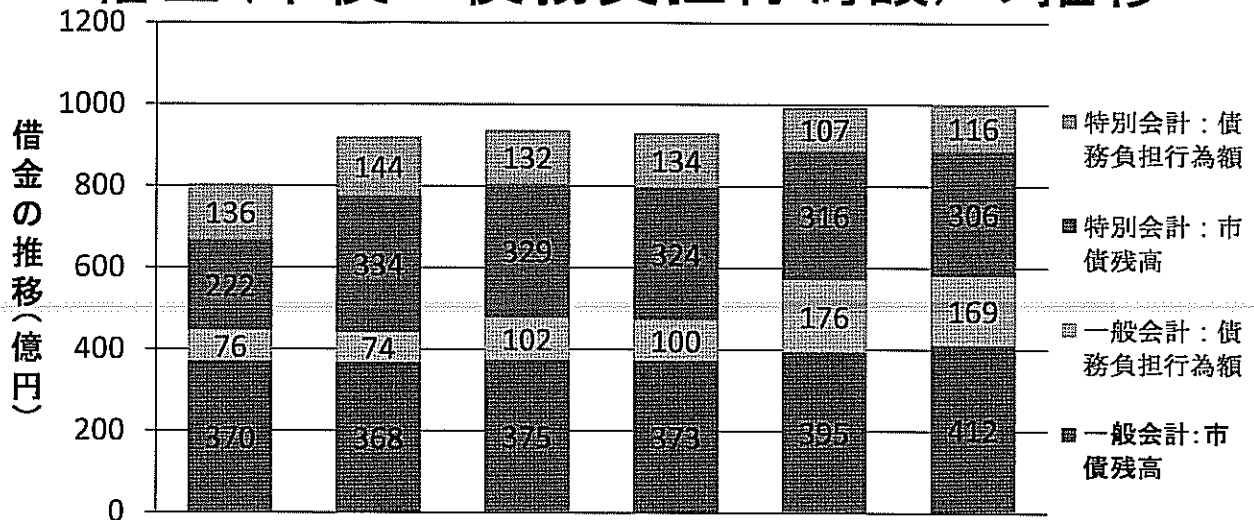
H26年度末流山市の借金と貯金

- 借金(市債)残高(一般会計分) 412億03百万円
- (うち臨時財政対策債残高 193億95百万円)
- 同上 (特別会計分) 305億41百万円
- 市債残高合計 717億44百万円
- 債務負担行為(未払金一般) 169億28百万円
- 同上(未払金特別) 116億08百万円
- 債務負担行為額合計 285億36百万円
- 借金合計 1,002億80百万円
- (市民一人当たり) (577,786円)
- 貯金計 82億62百万円
- (市民一人当たり) (47,604円)

2015/11/15

12

借金(市債+債務負担行為額)の推移

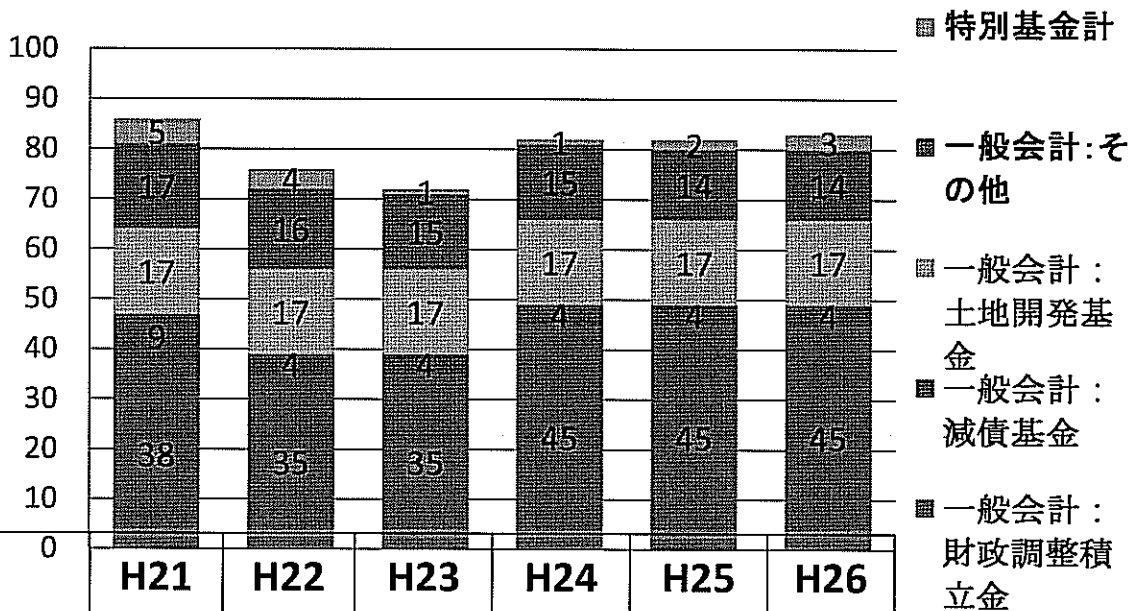


	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
市債残高計	592	702	704	697	711	718
債務負担行為額計	212	218	234	234	283	285
借金総合計	804	920	938	931	994	1,003
(うち臨時財政対策債算高)	113	131	148	164	180	194

2015/11/15

13

貯金(基金)の積立残高推移(単位:億円)

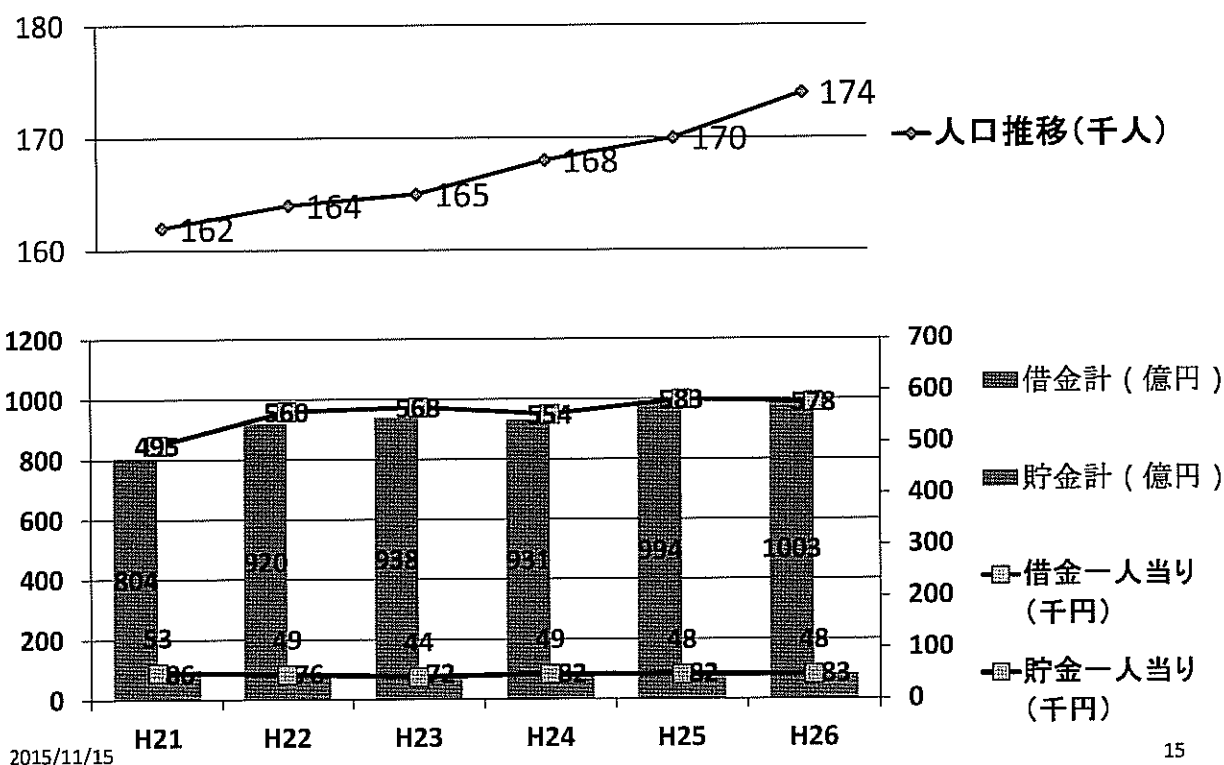


	H21	H22	H23	H24	H25	H26
一般基金計	81	72	71	81	80	80
特別基金計	5	4	1	1	2	3
基金合計	86	76	72	82	82	83

2015/11/15

14

市民一人当たりの借金・貯金の推移



2015/11/15

15

財政(市債)運営上の方針の変遷

☆ 市債発行基準・・・自治基本条例第23条5項市税の2割を超えない範囲・超える場合は市民の意見を市民投票などにより求め、その結果を尊重。

- ①毎年度市債元金償還金額内(市長の予算編成上の目標)・・・H15～H24
- ②市税収入減(H15～H17)・放射能対策・扶助費の増加・小中併設校の建設や総合体育館の建替え等の財源確保ため財政調整積立金(貯金)は減らさないで「臨時財政対策債」の限度までの借入れを実施する。
- ③ただし、平成25年度以降一般会計の市債残高を当年度の予算規模を越えない範囲内に抑える。 完

2016/4/15

16